

令和5年度北海道函館西高等学校 入学式式辞

やわらかな春の日差しが降り注ぐ季節となりました。

ただ今、入学を許可された新入生のみなさん、入学おめでとうございます。函館西高等学校教職員一同、心から歓迎いたします。保護者のみなさま、お子様が、本日晴れて、函館西高等学校の生徒として新たなスタートを切られましたことに対し、心からお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。また、本日入学式を挙げるに当たり、来賓として、PTA会長 関本広規（せきもと こうき）様、同窓会長 渡辺俊二（わたなべ しゅんじ）様をはじめ、たくさんの方々にご臨席を賜りました。誠にありがとうございます。

新入生のみなさん、本校の校訓は「志高く 未来を創る」です。この校訓には、理想を求め、真理を探究し、これからの社会を主体的に担ってほしいという願いが込められています。

さて、新入生のみなさん一人一人が、校訓「志高く 未来を創る」を実現するために、私から3つの願いがあります。この3つの願いを胸に刻んで、学校生活を送ってほしいと思います。1つめは「自分のよさや可能性を認識すること」、2つめは「あらゆる人を価値のある存在として尊重すること」、3つめは「多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り開いていくこと」です。本校で展開する探究的な学習や体験的な学習、生徒会活動、部活動、ボランティア活動などを通じて、地域の協力を得ながら広く社会を知り、自分のよさや可能性を見だし、自己有用感を育ててほしいと思います。そのためには、自分を、そして他者を、価値のある存在として尊び、変化の激しい社会において、多様な人々と協働することにより、課題を見だし、考え、先を見通して物事を進め、新しい価値を創造することを願っています。

新入生のみなさんが、毎朝登校し、この坂を上ってくるときに、今日はどのような一日が始まるのだろう、今日は学校で何を学べるだろうかと期待に胸を膨らませてほしい、そして、下校時にこの坂をくだるときには、今日はどのような一日だったのだろうか、今日は何を学べただろうかなどと考えながら、自分のよさや可能性に少しでも気付く日々を過ごしてもらいたいと思っています。

結びになりますが、本日、保護者の皆様の大切なお子様をお預かりし、教職員一同、ご家庭と十分連携を図りながら、地域から一層信頼され、魅力ある学校づくりを目指して、教育活動の充実に努めて行く決意です。

ご来賓の方々、保護者の皆様の、本校への変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、本日入学された新入生の皆さんの大いなる健闘を心から期待して、式辞といたします。

令和5年4月10日 北海道函館西高等学校長 古御堂 徹